

◆茅ヶ崎同盟教会たより 2023年11月

どうか御父が、その栄光の豊かさにしたがって、内なる人に働く御霊により、力をもってあなたがたを強めてくださいますように。信仰によって、あなたがたの心のうちにキリストを住まわせてくださいますように。（新約聖書 エペソ人への手紙3章16-17節より）

使徒パウロの祈りです。教会に連なるひとり一人の内なる人が強められることを求めて祈りました。

私たちの「内なる人」は弱ってしまふことがあります。「なんとなく不調」ということばを聞きますが、信仰生活にもそれは起こるのです。信仰が元気を失い、形ばかりの心の伴わないものになってしまうと、確かな歩みをすることができません。人生の試練に振り回されたり、重荷に耐えきれず崩れてしまふ。

だから「内なる人」が強められるようにパウロは祈ったのです。信仰に生きることは、神の恵みの力によって「内なる人」を強められながら歩むことです。

「内なる人」を強化するのは、私たちの心のうちに住んでくださるキリストです。深い悩みの中にも、困難に思える所にも、悲しみや嘆きが押し寄せるただ中にも、キリストは共におられ、赦し、癒し、慰め、励まし、勇気を与えて立ち上がらせ、望みを与えて、歩ませてくださるのです。

あなたの「内なる人」は元気ですか？

パウロはこのように確信していました。

「私たちは落胆しません。たとえ私たちの外なる人は衰えても、内なる人は日々新たにされています。」

（第2コリント4章16節）

祝福がありますように。

牧師 山村 諭